



Q. 今後の展望は？

A. 竹には、伐採しても3年あれば元の姿に戻るほどの再生力があります。その力を生かし、竹がさまざまな分野で有効活用されるよう、どんどん新商品を開発していきます。

Q. 若者へメッセージを

A. 都市部のデパートに商品を出すと、お客さんからは、「宮崎にはいいものがたくさんあるね」と言われます。宮崎はそれだけポテンシャルが大きいんです。ぜひ一緒に宮崎を日本へ、世界へアピールしていきましょう。

〈代表取締役〉
江藤 竹虎
えとう たけとら

影になる部分



湯煎・殺菌し、乾燥させた真竹に竹材真空注入装置を使って薬剤を注入。防虫加工を行います。



長椅子が仕上がるまではおよそ2週間。割れに細心の注意を払いながら竹を組んでいきます。



自社で一貫して仕上げるワンストップ体制が、職人たちの意識をさらに向上させています。

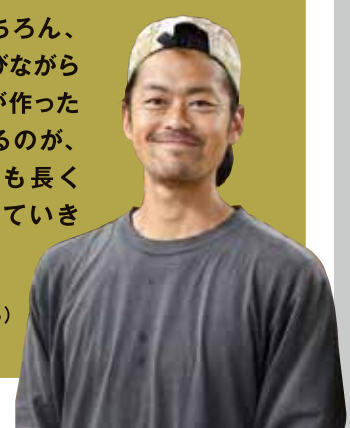


case **10**
家具・装備品製造業
有限会社 梅里竹芸
〒881-0111
宮崎県西都市大字荒武816番地
TEL 0983-44-5600

若い千カラ

経験豊富な先輩方から、技術はもちろん、ものを作るということの心構えを学びながら日々仕事に取り組んでいます。自分が作ったものでお客さんに喜んでいただけるのが、ものづくりのやりがいです。今後も長く使っていただけるものを作り続けていきます。

井野 猛 (35)
いの たけし



有限会社 梅里竹芸

山の管理から販売まで ワンストップ体制で 竹の魅力を発信

日本で唯一、竹製家具を製作・販売する有限会社梅里竹芸。素材としての竹が持つ可能性に挑むため、すべての工程を自社内製化。BtoBも視野に入れ販路拡大へ。



防虫加工の新装置で 自社内製化を実現 竹の魅力を世界に広げる

ソ ファーや椅子、ベッドなど日本で唯一、竹製の家具を手掛ける有限会社梅里竹芸。これまで、材料となる竹の伐採や防虫加工などを外注で行っていましたが、ある深刻な課題に直面していました。後継者不足によって廃業する取引先が相次いだのです。

「竹の確保がままならないんですからね。会社が生き残っていかれるかどうかの状態でしたよ」

そんな危機を回避するため、同社が出した答えが、竹を産出する山の管理から販売までを一貫して行う自社内製化でした。

そ の体制を確立するため、今回のづくり補助金で導入した竹材真空注入装置です。

「竹を材料として使えるようにするには、伐採した後に湯煎殺菌→乾燥→防虫加工という工程を経る必要があります。なかでも竹は虫が付きやすいので、防虫加工が特に重要です。大切なお客さまに万が一にも虫が付いているような家具を届けるわけにはいきませんからね」

竹材真空注入装置の導入によりワンストップ体制が確立したことで、杖や小物入れなどの新商品開発にも力を入れられるようになったといいます。

「今後は竹でこんなものを作れるんだというインパクトのある商品を作っていきたいですね。そしてゆくゆくは海外に進出し、竹の魅力を世界中に広めていきたいと思っています」



ものづくり補助金活用 **ココ** がポイント!

自社で防虫加工ができるようになり 規格外の竹も製品に

家具などの製品に使えなかった規格外の竹も、竹材真空注入装置で防虫加工し、“虫が付かない上質な竹”として製品化。ホームセンターで、工作の材料や園芸用として販売されています。

point!

有限会社 梅里竹芸